

第3期小清水町地球温暖化対策実行計画 1年目評価

【1年目評価】

基準年度と比較し温室効果ガスの排出量は横ばいの施設が多かったものの、全体として削減傾向となった。

削減の主な要因として、オール電化施設である小・中学校の使用電力量減少、高齢者生活福祉センターのボイラー更新による燃料及び使用電力減少が挙げられる。

今後は新型コロナウイルス感染予防対策による室内の換気頻度増加に伴い、燃料及び電気の使用量増加が想定されることから、省エネ意識の向上、LEDの積極導入等の更なる取り組み推進により使用エネルギーの減少に努め目標の達成を目指す。

表1

年度	温室効果ガス 総排出量	基準年度からの 削減量（削減率）
基準年度： 2013(平成25)年度	3,493.6 t-CO ₂	—
1年目実績： 2019(令和元)年度	3,189.2 t-CO₂	△304.4 t-CO₂ (△8.7%)
計画目標年度： 2023(平成35)年度	2,971.1 t-CO ₂	△522.5 t-CO ₂ (△15.0%)
長期計画目標年度： 2030(平成42)年度	2,096.1 t-CO ₂	△1,397.4 t-CO ₂ (△40.0%)

表2

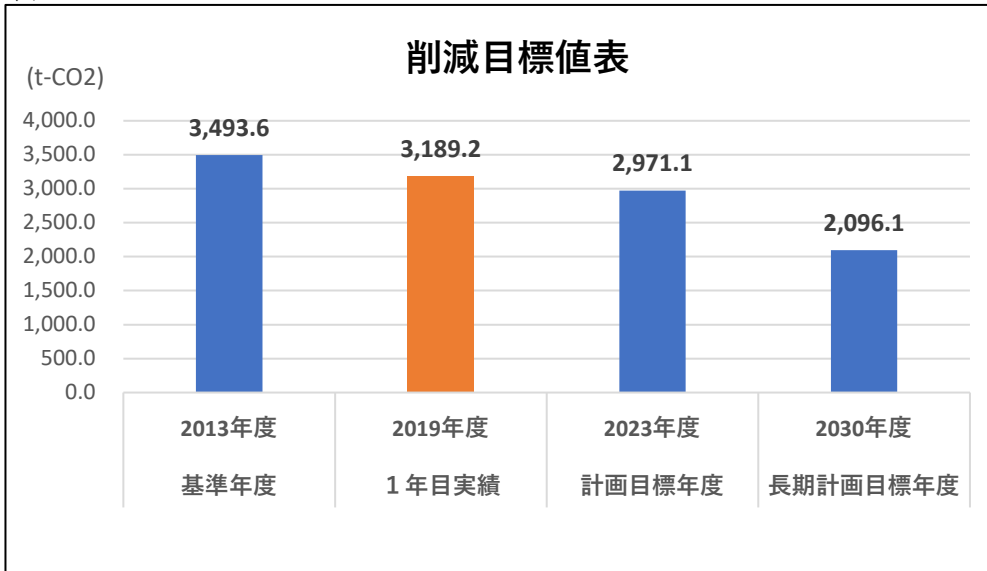
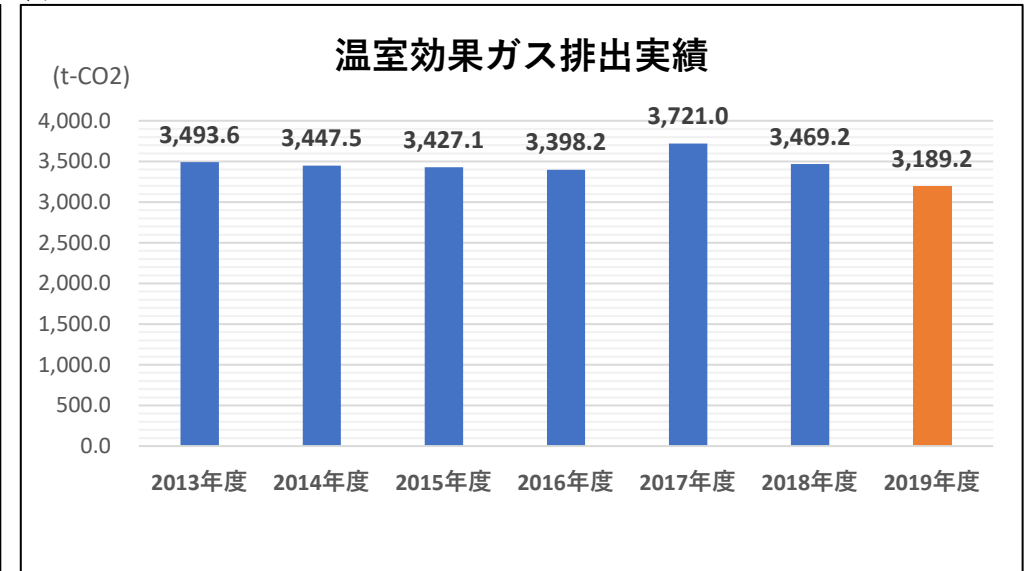
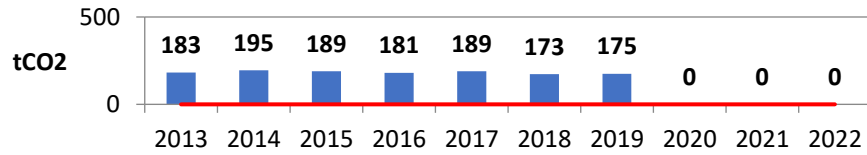


表3

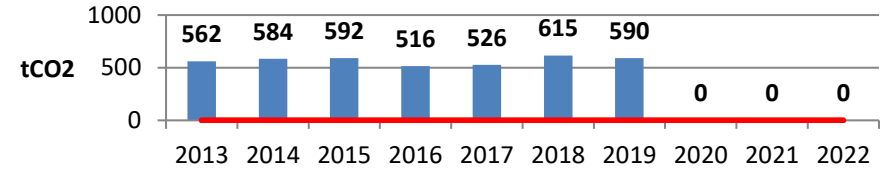


課別温室効果ガス排出量一覧

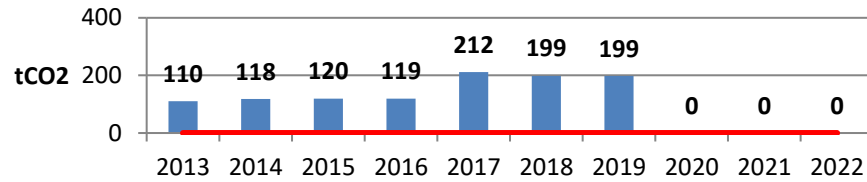
排出量・総務課



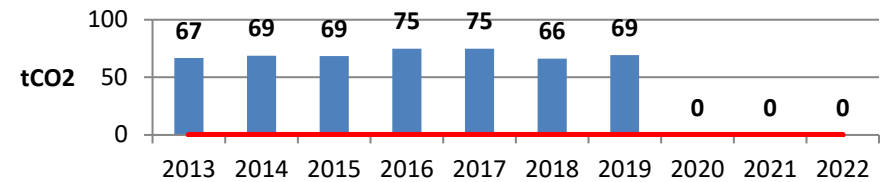
排出量・建設課



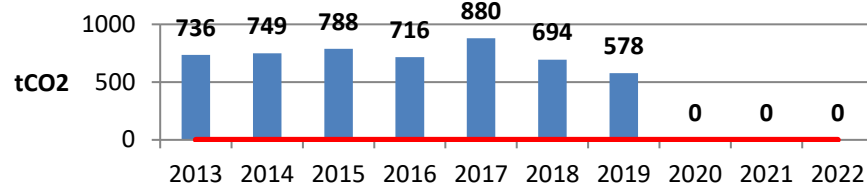
排出量・町民生活課



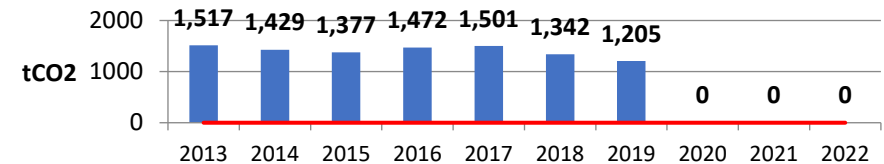
排出量・子育て支援課



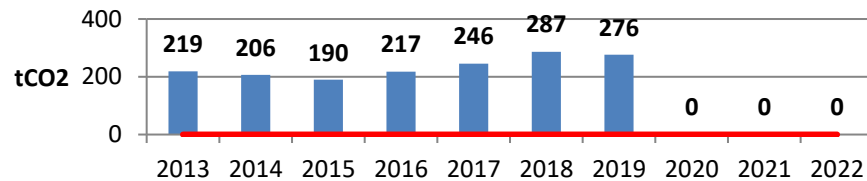
排出量・保健福祉課



排出量・教育委員会



排出量・産業課



排出量・消防

